

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007

ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

FAX03-3261-5453

民意を反映する選挙制度実現 比例定数削減
反対！運動情報

2013年9月11日

第417号/本号3ページ

集団的自衛権行使容認許さない

われわれの武器は憲法そのもの。 25人が発言

憲法会議が拡大常任幹事会

安倍内閣は、臨時国会にも「国家安全保障法案」提出をはかろうとするなど、集団的自衛権行使を可能にし、憲法9条を空文化する改憲攻撃が激しくなっている中、憲法会議（憲法改悪阻止各階連絡会議）は9月8日、都内で拡大常任幹事会を開きました。昨年までの開催時期を約1ヵ月前倒しし、闘争体制を確立する決起集会として開かれた会議には、14都府県の憲法会議、15中央団体の代表が参加しました。

会議では、吉田健一憲法会議代表幹事が行なった開会あいさつに続き、平井正事務局長が情勢の特徴と運動方針を報告しました。安倍首相が「憲法改正は私の歴史的使命」と語り、集団的自衛権行使を容認し、「戦争する国」へ総動員体制めざす「国家安全保障基本法案」を秋の臨時国会にも提出することを策しているなど、立法や政府の施策で憲法を骨抜きにしようというかつてない重大な事態となっていることを強調しました。こうした動きに対し、マスコミ各社の世論調査では、「反対」が過半数を占め、「賛成」は30%前後にとどまっていることを紹介。学習と宣伝、対話、共同の推進、そのために宣伝資材の作成や普及、署名活動、SNSやはがきの活用作戦などにとりくむことを提起しました。憲法会議が再来年迎える結成50年のたたかひの歴史をふまえ、憲法会議の役割をいっそう発揮するこの運動に総決起を呼びかけました。

21日に行なわれる憲法会議と首都圏憲法会議による「2013年憲法講座」を成功させようと訴えました。

多彩で豊か、力強い交流、福島からの訴えも堺市長選挙の呼びかけも

討論では25人が発言しました。領土問題が集団的自衛権行使容認の口実にされている（日中協会）、秘密保全法の制定の強行が問題（自由法曹団）、安倍首相がねらう教育・教科書のより一層の反動化と介入（歴教協・代表幹事）など、それぞれの立場から集団的自衛権行使容認、「戦争する国」にむけた総動員体制への傾斜ともいえる暴走ぶりの告発が相次ぎました。こうした中で、駅利用者の6割がピラを受け取る（大阪）、広範な市民との一点での共同で集会が成功した（石川、長野・松本）、109回の学習会が開かれ、回数目標を突破（和歌山）など多彩で意欲的な活動が紹介されました。「武器は憲法、改憲派の弱点は改憲案」（国民救援会）と憲法自体を活動のよりどころにし、憲法の値打ちを語り、「変化と躍動を作り出したのは私たち」（新婦人）と発言するなど、確信がみなぎる交流となりました。

福島の代表は、汚染水の際限ない漏水は日本と世界に被害を与えるもので、オール福島の取り組みで全国と一緒に、と運動を呼びかけていると発言。大阪の代表は、憲法と

地方自治を守り生かす維新の会と激しいたたかいになっている堺市長選（9月15日告示、29日投票）で竹山市長再選のための支援を、と訴えました。

吉良よし子参議院議員が国会報告

会議には吉良よし子日本共産党参議院議員が参加し、国会報告を行ないました。吉良議員は「平和が原点、憲法がよりどころ」と述べ、参議院憲法審査会に日本共産党議員が複数委員を送ることができるようになり、仁比聡平参議院議員が同審査会幹事に、吉良議員が委員となってがんばるとの報告には大きな拍手が起こりました。

発言した 25 人とそのテーマ（発言順、敬称略）

- 山口文彦（福島） オリンピックどころではない福島の重大な状況とたたかい
渡辺政成（埼玉） 学習活動で講師団が活躍、マイ名簿で多数の署名
隅野隆徳（代表委員） 「戦争する国」づくりめざす自民党改憲案の本質
大村新一郎（日中友好協会） 尖閣諸島めぐる領土問題の平和的解決を求めて
吉田健一（自由法曹団） 秘密保全法案の動きとその危険な内容について
石山久男（代表幹事） 安倍政権の教育政策について
安部行洋（香川） 教科書採択をめぐるたたかいについて
徳弘嘉孝（高知） 憲法電車の運行、オスプレイ反対など憲法をまもり生かす活動
片桐公男（東京） 9日には70カ所で宣伝、署名、自治体への要請などの活動
木藤伸一郎（京都） 講演会、ミニリーフ・パンフ・書籍などの出版・活用などの活動
高橋 勲（千葉） “集団的自衛権”をわかりやすく、政府見解は国民の運動の反映
筆保 勝（大阪） かつてない憲法の危機と府民の変化、秋の集中期間を設定
戸田俊子（松本） 原発反対の一点共同の運動をもとに改憲反対の運動を広げる
板坂洋介（石川） 共同の経験を生かした憲法を守り生かす運動の推進
坂本文博（和歌山） 100カ所学習会、リーフ活用の宣伝、美浜町の過半数署名
浜田章作（鳥取） 自民党改憲草案全体の徹底批判の大事さについて
鈴木 猛（国民救援会） 憲法署名を独自に作成、全国で取り組む、秘密保全法反対
吉良よし子（日本共産党参院議員） 国会報告
田川英信（自治労連） 憲法を生かし守る方針掲げ第35回定期大会。秋に憲法集会
田倉孝衛（全教） 「I Love 憲法」メッセージ集、9日からの憲法週間
小室悦子（全労連） 輝け！憲法全国縦断キャラバン、新署名、共同センターの運動
加藤友志（全学連） 全国の学生の意識とよりそった運動
西川香子（新婦人） 1月から20万人の署名を集めるなどの全国の運動の経験から
島田直樹（民青同盟） 青年のエネルギーと憲法、結集する運動の計画
川村俊夫（代表幹事） 憲法会議の50年の歴史的教訓を今日の運動にどう生かすか



あいさつする吉田代表幹事

報告する平井事務局長



座長団（石山代表幹事、島田担当常幹） 国会報告にたつ吉良参院議員
 【写真はいずれも片桐公男東京憲法会議事務局長】

集団的自衛権行使容認から明文改憲へ—憲法への攻撃を学習で、世論と共同の運動ではねかえそう！

憲法会議・2013年憲法講座

講座 1 **小林 武** 沖縄大学客員教授 「安倍内閣、自民党改憲案と国民との矛盾」

講座 2 **新原昭治** 国際問題研究家 「9条の力、米の世界戦略と集団的自衛権」

特別講座 参院選後の国会と憲法をめぐる情勢（日本共産党国会議員）

とき 9月21日（土）午後1時～午後5時 **ところ** 全労連会館2階ホール

■文京区湯島 2-4-4 平和と労働会館〔全労連会館〕TEL03-5842-5610 ■JR 中央・総武線、東京メトロ丸の内線「御茶ノ水」駅 徒歩 8分

☆事前に下記へファックスまたはメールでお申込みください。おり返し参加証を送ります。（定員で締切り。ホームページなどで告知）

☆資料代1000円（学生500円）を当日、会場でいただきます。／☆講座の講演・特別報告は『月刊憲法運動』10・11月号に収録します。

☆主催 神奈川憲法会議・埼玉憲法会議・千葉県憲法会議・東京憲法会議・中央憲法会議

◆ 憲 法 会 議 ◆ 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10
 神保町マンション 202
 TEL03-3261-9007 fax03-3261-5453
[Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp](mailto:mail@kenpoukaigi.gr.jp)